

◎わが愛する青年に贈る

自らが広宣流布の主体者となることです。自分が主人公として行動しなければ「喜び」は湧いてきません。

この大転換への鍵となるものこそが、「地涌の使命」の自覚なのです。

「仏に救われる存在」から、仏と共に「人々を救う存在」へと人間革命する。末法という悪世に翻弄される宿命を嘆くのではなく、その激浪と戦いながら、人々を支え、励まし、自他共に幸福を築きゆく、歓喜あふれる菩薩の使命の実践へと打って出るのです。

(『わが愛する青年に贈る』111 ページ)

◎御書と師弟 新版

学会は、正しき師弟の団体であるからこそ、大聖人の未来記を壮大なスケールで実現できた、仏法史上、未曾有の教団なのであります。

この学会とともに、一人ひとりと対話し、一人ひとりを励まししながら、広宣流布へ歩んでおられる同志の皆様こそ、最高に尊貴な方々にほかならない。皆様方をおいて、一体、誰が御本仏の未来記を現実のものとしてきたでありましようか。この大福德は、未来永遠にわたって無量無辺であります。

(『御書と師弟 新版』272 ページ)